

早島町議会だより

CONTENTS

行政視察報告	2P
3月定例議会概要	3P
平成29年度当初予算審議	4~5P
総務厚生常任委員会	6P
建設文教常任委員会	7P
議会報告会を開催しました	8P
子ども議会・議会活動報告	10P
一般質問	11~19P
新人職員紹介	20P



議場に議員全員集合

行政視察報告



総務厚生常任委員会、建設文教常任委員会合同視察

視察日程 平成29年2月1日(水)～2月3日(金)

視察参加議員 9名、議会事務局 1名

調査事項

空き家対策(空き家バンクと古民家再生) こどもの国基本構想について

○福岡県福津市

人口61,597人 面積52.76km²

○視察日時

平成29年2月1日(水)13:30～

住みよさランキング2016年版、全国44位、九州2位、福岡県1位、快適度ランキングでは全国2位となっている。

空き家実態調査については、平成22年と平成27年に外部委託で実施している。先駆的空き家対策モデル事業、「所有者特定スピードアップ事業」を実施、また平成26

視察事項

菱の実による町おこしについて

○佐賀県神埼市

人口32,066人 面積125.13km²

年7月に空き家バンク制度を設立し、空き家バンク制度を開始している。古民家再生事業では公の施設設置条例を制定し津屋崎千軒民俗館「藍の家」を住民グループが運営している。

こどもの国基本構想、「子供の笑顔があふれ、心豊かに育つまち福津」という基本理念のもと、策定、平成27年「子ども・子育て支援事業計画」平成27～31年度を計画期間とし進めている。計画の基本目標は、こども、家庭、地域の3つの施策分野を設定している。

○視察日時
平成29年2月2日(木)13:30～

◆菱の実の取り組み

菱の実を神埼市の特産品としての思いから、神埼市ブランド創造事業として平成21年から神埼の和菱を使った本格和菱焼酎の取り組みをはじめた。

現在焼酎に加え、菱の加工の段階で処分していた菱の外皮を活用して「ひしぼうる」を商品化。また菱のお茶や化粧品(洗顔用せっけん、オールインワンクリーム)など新たな商品開発の取り組みを進めている。

平成27年8月1日神埼和菱組合が発足し菱焼酎の生産量は年間約1,000本、事前経費 平成22～26年までに、約2,000万円を投資している。

視察事項

介護予防と介護ボランティア制度について

○福岡県粕屋町

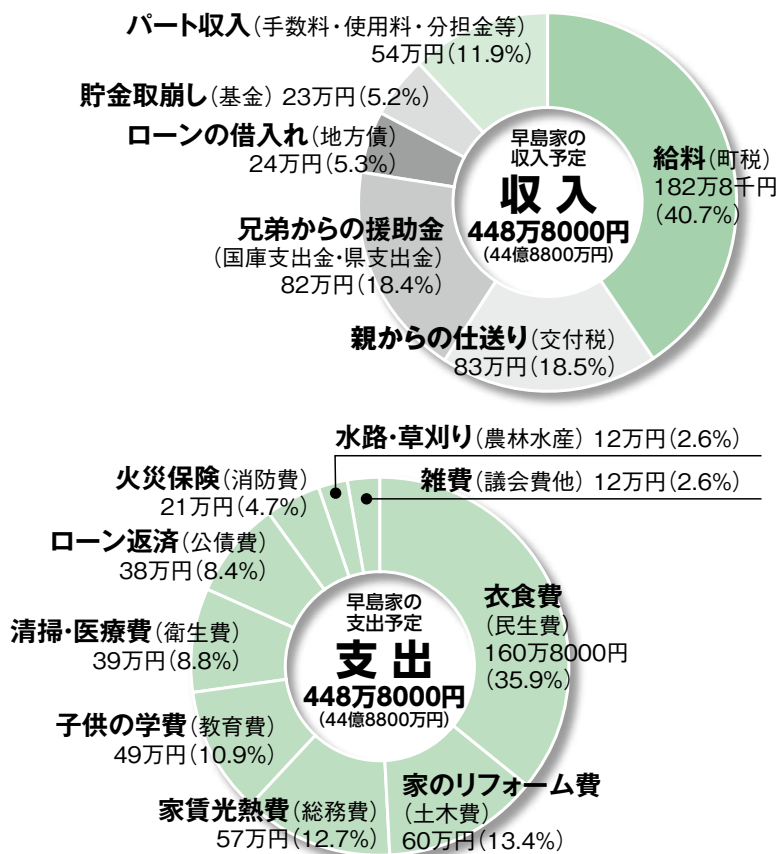
人口46,340人 面積14.13km²

生活支援サポーターの活動は、かすサポ部活動で生きがいづくり、仲間づくり、サポーターの取り組み、町内の公民館等で「ゆうゆうサロン」を実施し、各行政区のボランティアがサロンをサポーター。平成27年度よりサポーターポイント制度を開始。新たに運動支援サポーターの要請を行い、粕屋町で活躍するサポーターを「かすサポ」とネーミング。

生活支援サポーターの心得、身近なことから無理のない範囲で、身近な地域で、自分の健康を考え無理のない範囲で行う。相手を理解し、尊重した活動、一方的で勝手な行動は慎む。活動を通して知り得た情報は漏らさない。時間等、約束を厳守するとしている。買い物同行支援、ゴミ捨て支援等も実施している。

早島家の家計簿(年収448万8000円)

1億円=10万円



平成29年3月定例会は3月6日から11日までの12日間の会期で開かれました。平成29年度の当初予算、条例判定・改正、各補正予算など25議案が上程され24議案は原案どおり可決しましたが、第9号議案は否決となりました。

平成29年度 予算総額81億6千43万円

- ◆**条例の制定及び一部改正**
 - 早島町男女共同参画推進条例の制定
 - 早島町空家等の適正管理に関する条例の制定
 - 早島町都市再生協議会設置条例の制定
 - 早島町一般職非常勤職員等の任用、勤務条件等に関する条例の制定
 - 非常勤特別職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例
 - 早島町個人情報保護条例等の一部を改正する条例
 - 町税条例等の一部を改正する条例 (以上は可決)
- ◆**平成28年度一般会計補正予算**
 - 早島町特定教育保育施設及び特定地域型保育事業等の利用者負担額に関する条例の一部を改正する条例 (右第9号議案は否決)
- ◆**平成28年度一般会計補正予算**
 - 5,676万9千円を減額し総額を50億4,347万円とする
- ◆**国民健康保険特別会計補正予算**
 - 6,316万円を減額し総額を16億8,632万円とする
- ◆**早島町後期高齢者特別会計補正予算**
 - 286万4千円を減額し総額を1億6,372万2千円とする

会計別予算額一覧

区分	予算額	
一般会計	44億8,800万円	
特別会計	国民健康保険	16億7,020万円
	介護保険(保険事業勘定)	10億3,596万円
	介護保険(介護サービス事業勘定)	216万円
	後期高齢者医療	1億6,223万円
	合計	28億7,055万円
公営企業会計	公共下水道事業	5億4,137万円
	水道事業	2億6,050万円
	合計	8億188万円

- ◆**早島町公共下水道事業特別会計補正予算**
 - 2,078万3千円を減額し、総額を5億4,042万1千円とする
- ◆**水道事業会計補正予算**
 - 収益的収入 622万5千円追加
 - 収益的支出 499万4千円追加とする
- ◆**その他の議案**
 - 早島町地域福祉センターの指定管理者の指定
 - 早島町の道路線の認定
 - 早島町いかしの舎の指定管理者の指定
 - 早島町防災行政無線整備工事請負契約の変更

平成29年度当初予算審議

平成29年度当初予算審議を、予算審査特別委員会委員全員出席のもと、3月9日及び3月10日の2日間にわたって開催しました。慎重審議の結果、平成29年度一般会計予算は賛成多数で可決すべきものと決しました。なお、議案第17号の平成29年度早島町一般会計予算、10款教育費、6項保健体育費、1目保健体育総務費のボルダリング事業に関して事業計画、予算について不明確な部分が多く、議会として納得できないため、6月定例会までに事業内容等を精査し、改めて議会に説明し、了承を得たうえで予算を執行する旨、予算審査特別委員会としての意見を付しました。

主な質疑

一般会計

- Q** 固定資産税が前年度より4200万と増額となっているがなぜか。
- A** 土地大規模開発があり、大和物流、山陽新聞、日野自動車など企業進出があるため。
- Q** ふれあいの森公園キャンプ場の利用、使用が減ってきているが今後の活用方法は。
- A** 利用者自体は前年度より増えている。引きつづき周知、PRを行う。
- Q** ドリームハウスの利用が少ないが今後の利用改善策は。

- A** 毎日利用されている。ただ時間帯によって利用が重なり、できないことがある。今後時間帯を細かく調整する。
- Q** 昨年度、観光センターを今後どう活用していくのかについて運営方針を検討することだが、どのような検討をしたのか。
- A** 進捗状況ですが少し遅れている。現在、県内観光センターの運営に関する資料を集めている。
- Q** 小・中学校の補助金が、昨年度より増額となっているが根拠は。
- A** 人数の増加に伴うもの。
- Q** 保育所負担金が3200万円増額となっているが。

- A** 若宮保育園の委託料1年分。
- Q** 昨年度、防犯カメラ設置支援事業資金として195万円計上されたが、今年度は計上されてない。防犯カメラの設置は町として行わないのか。
- A** 県の補助金事業も終了し、町として防犯カメラの設置事業は終了した。
- Q** 生き活き拠点形成支援事業補助金の内容は。
- A** 早島町公共交通、JR・コミュニティバスの利用促進を図るための事業。
- Q** 二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金500万円の内訳は。
- A** 防犯灯LED化に伴う補助金。



- Q** 何年計画なのか、1年で終了するのか。
- A** 今年度、調査をして本数等規格化し、取り換える事業に入る。できれば今年度中にはと思うが進捗状況で年度をまたぐことはある。
- Q** 町のホームページシステムを改善してはどうか。
- A** システムを各課に確認して、インフォメーションリーダーと連絡を密にして改善していく。
- Q** 空調設備の調査設計委託料と保守点検委託料を切り離して発注するのはなく、調査から修繕まで一括して発注してはどうか。
- A** 目的を持って調査委託料としてあげている。安易にスタートし、これでいいという決め方はしたくない。1つ1つ何が悪くて、どうしたらどういうコストメリットがでてくるか、長期的にみてどういう保守が必要なのか、どの手法が適しているのかというのをおさえていく。現在、保守していただいている業者に情報をいただきながら、きちんと考えていく。
- Q** 現物の例規集を必要な所に置いてはどうか。
- A** 費用等相当かかるので、検討させていただく。また他市町村の状況を確認する。

Q 中小企業応援事業補助費の内訳は。

A 起業するに当たり、登記委託料、家賃代、備品他、起業家の支援としての補助。

Q コミュニティバス運行委託料2660万円を計上されているが内訳は。

A 東・西・南の3コースで、東・西コース302日分2300万円、南コース月・水・金・臨時153日分360万円を計上している。

Q コミュニティバスの故障率が高いが、来年度の予測は。

A 今後3年間のうちに検討していく。29年度に対しては、今までの運行実績、故障の回数を細かくデータ化してコミュニティバスをどうあるべきかについて検討する。



Q 地域支援事業委託料45万円を計上しているが内訳は。

A 町の福祉施設等でミニデイサービス事業を何ヶ所かおこなうため。

Q 高齢者交通助成費の制度見直しをしてはどうか。

A 免許証返納者等についての運用を29年度にかけて検討していく。

Q 町道修繕工事請負費が前年度より1000万円程減額になっている。予算は大丈夫なのか。

A 予算の範囲内で緊急性等を加味しながら修繕の対応をしていく。

Q 小学校費の設計委託料250万円の内訳は。

A トイレの洋式化、ベランダの防水、家庭料室の改修、老朽化に伴い来年度一括して改修が必要などころの設計料。

Q 幼稚園児の園児数が減少しているが、減少理由と幼児教育の活性化に向けての取り組みは。

A 東分園がなくなり通園が難しくなったのが1つの要因だと思う。与えられた環境の中でいかに成果を出すかということになる。

来年度は正規の職員もふえ先生方にしっかり研修をつんでいただき、本来幼児教育の目指すべきところを実現していく。

Q なぜボルダリングを実施しよう



としたのか理由が不明確。少年団等、町内で活動する団体の意見を聞くべきでは。

A オリンピックの正式種目になり山岳協会から要請があった。

Q 講師謝礼が19万円だと、一人当たりの謝礼があまりにも少額だが可能か。

A これから要請するので、わからない。

Q 器材借料が45万円計上されているが、制作するといくらになるのか。

A 制作した場合は10万円程度になる。器材は無料で借りられるかもしれない。

国民健康保険特別会計

Q 特定健康診査等事業費電算処理

委託料741万8千円の内訳は。

A データヘルスで200万円。ほかに、受診率向上や受診者のフォローアップに関する委託料も含まれている。

後期高齢者医療特別会計

Q 平成28年度末で後期高齢者医療保険に加入されている人数は。

A 平成28年末で1637名

介護保険特別会計

Q 健康保持のため100歳体操など地域で取り組んでいるが、参加しない方もいる。今後の取り組みは。

A 町では100歳体操を4カ所、また地域においては、社会福祉協議会でサロンなどを実施している。また制度が変わるといふことでミニデイサービス、認知症カフェなど立ち上げていく。

水道事業会計

Q 上水道基本計画業務委託料2643万8千円の内訳は。

A 平成17年に上水基本計画を策定し10年以上たつ。今後10年以上先を見越して、修繕計画も見直し、人口とか需要とかを加味して、現在ものを補修していくのではなく、基本計画自体を見直す。

4歳児の保育料無償化案を2日間に渡り慎重審議 結果、賛成少数で否決

【総務厚生常任委員会】

議案審議の主なもの

◆「早島町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業等の利用者負担に関する条例の一部を改正する条例について」を賛成少数で否決するものと決する。

Q 財源はどうするのか、また今後については。

A 28年度5歳児無償化時、地方消費税（一般財源）約2,900万円を充てた。29年度約4,000万円を充てる、30年度以後は未定。

Q 待機児童の解消ができていないが。

A 残念ですが現在9名の待機児童が発生している。

Q 行政として保育士に一次的な対応を考えているのか。

A 基本的に、手当をふやすことではなく保育士がいない。

Q なぜ無償化を急ぐのか。

A 子供が少なくなっているので、子供を産みやすい環境をつくるため。

Q 無償化はわかるが、まず待機児童をゼロにできないのか。

A 保育園の施設は入れるだけの容量はあるが保育士が不足している。

Q 幼稚園の選択もあり、延長保育もあるが弁当の持参が必要で利用がしにくい。

Q 幼稚園は教育方針としてお母さんの弁当が必要、土曜日は休園だ。

Q 無償化について昨年5歳、今年4歳の提案だが次はあるのか。

A 3歳児までは無償化をやりたい。

Q 9名の待機児童が発生している中、約1,300万円負担の無償化案はいかがか。

A 待機児童は頭にあるが保育園と連絡を取りながら待機児童の解消に

努める。

Q 子育てを安心して出来る環境づくりを進めると言っているが優先順位が違うのではないのか。

A 待機児童の解消と並行して負担軽減をしていく。

Q 待機児童に対する国の動向を見ながら4歳児の無償化案の先送りはできないか。

A 考えはない。ぜひお願いしたい。

Q 5歳児無償化のときに、今後はあらかじめ計画を出してほしいと言ったが計画が出ていない。

A 予算は組んでみないとわからない。3歳児までの無償化を実施すると公約している。

2 日目

Q 4歳児無償化により、さらに待機児童がふえると思うが、待機児童解消に向けての熱意が感じられない。

A 熱心に担当を含め努力している。

Q 保育士に来てもらえるようなメリットを打ち出さないと保育士は確保できないと思うが。

A 保育士の待遇改善は非常に難しい、さまざまなことを考えているが、

現在具体的になっていない。

Q 待機児童がゼロになつて初めて4歳児無償化であると思われる。町長自ら身を切る、例えば報酬の減額とかの考えはないのか。

A 検討していく。

Q この事業を実施することにより、さらに待機児童を助長することにならないのか。

A 子育てに対する負担軽減は大切なことである、イタチごっこにならないとは限らないが、いつまでも続くとは思えない。

Q 待機児童が発生した場合の救済策を考えられないのか。

A 子供子育て会議の中で検討していく。

討論なし

賛成 1 反対 3

◆総務厚生常任委員会に付託されたその他の9の議案については全会一致で可決すべきものと決した。

◆請願

日本政府に「核兵器禁止条約の交渉会議参加と、条約実現に努力することを求める」意見書採択を求める請願書を全会一致で採択すべきものと決した。

早島町空家等の適正管理に関する条例を全会一致で可決

【建設文教常任委員会】

議案審議の主なもの

◆早島町空家等の適正管理に関する条例の制定について

- Q** 町内の空き家調査はどこまで進んでいるのか。
- A** 現在98件であり、特定空家は6件ある。
- なお、要調査物件が7件あり、立ち入り調査を専門家に依頼する。
- Q** 現在危険な状況にある特定空家について、行政が早急な対応ができるようになるのか。
- A** 応急措置で取り掛かることが可能になる。
- Q** 空き地についての対応は。
- A** 空き家と同様に空き地のクレームが多いので、町民課の環境担当と連携する。空き地の持ち主には、文書での警告を行っている。



◆早島町都市再生協議会設置条例の制定について

- Q** 協議会の委員は10名だが、どのような人材を考えているのか。
- A** 町民からの公募、大学の先生、商工会、農協、建築士会、社会福祉協議会、福祉関係、議員、県職員等を予定。
- Q** 策定予定の立地適正化計画について。
- A** 町全体を俯瞰して、都市機能を誘導して、コンパクトな町づくりを考える。
- 早島町の課題を考えて、早島の再編に努める。
- ◆早島町一般会計補正予算(第5号)
- Q** 木造住宅耐震改修事業補助金280万円減額は。
- A** 診断まではするが、改修までいかないため。
- Q** 林業総務費の123万4000円の減額は。
- A** 平成28年度必要箇所の伐採や危険木の処理をしているが、実績に基づくもので、不要が出たため
- Q** 植栽維持管理委託料は。
- A** 駅前、梅檀の木を樹木医の資格を持った方に管理していただき、梅檀

の木の長寿命化を図るために委託している管理費。

- Q** 公共下水道事業特別会計繰出金が3472万3000円減額の理由は。
- A** 事業費が760万円、国庫補助金が1500万円減額になった。さらに受益者負担金も約200万円、入札残金との相殺で合計3400万円になった。
- Q** 事業費760万円減額は。
- A** 管路の調査とマンホールポンプの調査の入札が45%で落札されたため。
- Q** 道路橋梁費の道路新設改良費での減額は。
- A** 委託料に補助金がなかったため、執行しなかった。
- Q** 幼稚園費の工事請負費の減額は。
- A** エアコン設置工事が71%で落札されたため。
- Q** 住宅費関連で町営住宅の今現在の進捗状況は。
- A** 平成29年9月30日までに新しい建物が完成予定。6月、7月ごろから地元説明会を開く。

開催しました

開催日時 平成29年3月28日
19時～20時30分
開催場所 ゆるびの舎2階研修室

参加された皆さん、ありがとうございました。

早島町議会は平成25年5月の第一回議会報告会を開催して以降、これまでの反省、検証を重ねた結果、住民・議会・行政が三位一体となり協働のまちづくりを推進するため、今回、議会報告会に加え「住民主体で地域の活性化に取り組もう」をテーマにワークショップを初めて開催しました。参加していただいた町民37名中、約半数の方が初めての体験でしたが、手順に沿って5グループ別に具体的テーマを選び、問題・課題の発掘から改善策についてグループ内で熱心に討議をしていただきました。

提言されたご意見・要望は議員全員で改めて協議し、議会として今後活かしてまいります。

ワークショップの流れ

テーマの絞り込み

問題・課題の洗い出し

改善案の立案

〔Aグループ〕

◎テーマ 子ども会のあり方

●問題・課題の絞り込み

- 子ども会活動に魅力がない
- 親が忙しく、活動に消極的
- 子供の行事が多く、子供会に入れない

○改善策(案)

- 興味ある活動、行事を取り入れる
- 地域が支え、みんなで協力支援する
- 保護者の負担を軽減する



〔Bグループ〕

◎テーマ 自治会の活性化

●問題・課題の絞り込み

- 高齢者中心で若い人の参加が少ない
- 役員のなり手がない
- 世代間交流がない

○改善策(案)

- 自治会役員に報酬を支給する
- 定期的に飲み会、茶話会を開催する



〔Cグループ〕

◎テーマ 地域活性化

●問題・課題の絞り込み

- 高齢化問題(地域コミュニティ不足)
- 子育て支援(子供の遊び場が不足)

○改善策(案)

- 早島の環境問題(空き家、安否確認)
- 子育て支援(子供の遊び場が不足)
- 早島の環境問題(空き家、安否確認)
- 独り暮らしの見守り、安否確認
- サロン活動、カラオケに男性を呼び込む
- 子どもたちに積極的に挨拶をする
- 遊びを通じて三世交代交流を行う
- 地区のイベントを広報紙に載せる



〔Dグループ〕

◎テーマ イベントに多くの人を呼び込むためには

●問題・課題の絞り込み

- 横のつながり、交流が不足している
- イベントに魅力がない

○改善策(案)

- 主催者が高齢者中心で後継者が不在
- 自治会間の交流を促進する



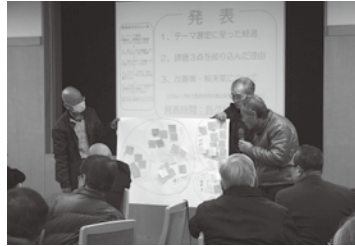
議会報告会を



- ・行政と民間の協力体制を構築する
- ・世代間を超えて声かけあい参加を促す
- ・時代にマッチしたイベントを考える

○改善策(案)

- ・緑地、公園を各所につくる
- ・農業体験の場をつくる
- ・魅力ある体験テーマを設定する
- ・地元の年配者に講演を依頼する



●問題・課題の絞り込み

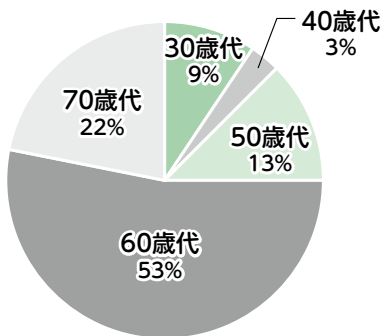
◎テーマ 子育て、教育の活性化

「Eグループ」

参加者アンケート結果

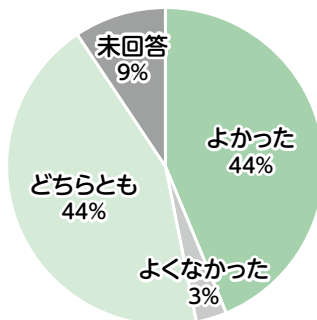
参加者37名中32名の方がアンケートに答えていただきました。

年齢構成



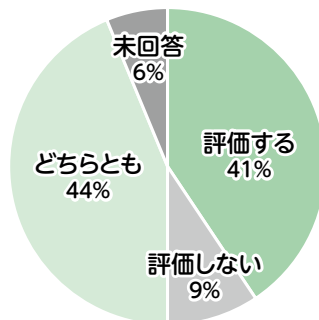
60歳台が53%でした。

ワークショップの内容



よかった44%、
どちらとも44%でした。

報告会・ワークショップの評価



評価する41%
どちらとも44%でした。

【ご意見・ご要望の抜粋】

- ・参加しやすい日時にしていただきたい(例えば土日の18時から20時)・初めてワークショップに参加したが、事前に趣旨説明がほしかった
- ・このようなワークショップおよび町民の声を聞く機会をふやしてほしい
- ・同じテーマで開催してはどうか
- ・他人の力を期待しすぎではないか
- ・議会報告の時間をもっと取ってほしい
- ・今回のように住民参加の報告会を希望する
- ・問題提起を議員はしっかり受け止め、考えていただきたい
- ・町長に対して反対ばかりせず、協力して町の発展に尽くしてほしい
- ・この活動は評価できる

報告会&ワークショップを振り返り

これまで開催した報告会是一部の方のみの質疑応答で終わっていましたが、初めての試みとしてワークショップを開催したことで全員が発言され、日頃思っていること、感じていることを述べていただきました。

今回のワークショップは、地域に関わるさまざまな立場の人々が自ら参加して地域社会の課題を解決するための改善策(案)を出していただきました。

出されたご意見・改善策は議員全員で共有し、議会活動ならびに今後活かしてまいります。

第2回子ども議会を

開催しました

2月4日、早島幼稚園児4名、小中学生の17名が議場に入り、第1部では議員として登壇し、当局に対し質問・提案を行い、第2部では町執行部の立場で答弁する等、模擬議会を体験しました。
第2部で議員から早島中学校生徒徒会に対して行われた質問・答弁の概要について報告します。



問 早島町のなを自慢したいか、また自慢できる町にしていきたいか。

答 祭り、イベントが多くあり、地域の方との交流の場がある。将来に向けて交通の便がよく、公共交通機関が充実していること。

問 あいさつについてどのような取り組みを行っているのか。

答 めざせ！あいさつ5つ星を実施している。

問 中学生達が集まる居場所となる施設は必要か。

答 必要と思う。長時間利用できる場所がほしい。

問 先日、議会は福岡県福津市で小中学生が自分たちで運営する施設を視察訪問した。

答 学習室や談話室、ダンスや運動ができるホール、スタジオ等があった。そんな場所があればうれしい。ぜひつくってほしい。

問 5年10年先の早島町に期待することはなにか。

答 イ草の復活。

問 未来の早島町の姿はどのようになつてほしいか。

答 祭り・行事が活発で地域交通が充実している。

問 未来の早島町の姿を実現するため、どんなことをすべきか。

答 各種行事に関わっていききたい。



議会活動報告

平成29年1月～3月 議会活動一覧

29	28	24	23	22	21	18	16	14	13	3	28	23	17	13	9	4	3	2	1	30	25	21	15	12	11	10	8	8	6	1	
水	火	金	木	水	火	土	木	火	月	3	火	木	金	月	木	土	金	木	水	2	月	水	土	日	木	水	火	日	日	金	1
町制施行120周年記念事業実行委員会	議会報告会	備南競艇事業組合議会	早島保育園卒園式	小学校卒業式	備南水道企業団議会	かんだ保育園卒園式	幼稚園卒園式	中学校卒業式	農業委員会	3	全員協議会	議長会定期総会	議長会運営委員会	農業委員会	野々市市)	行政視察受け入れ(石川県)	子ども議会	行政視察(福岡県粕屋町)	行政視察(佐賀県神埼市)	2	議会運営委員会	寄付金制度について)	青空議会	町消防団出初式	町消防団新田部長会	農業委員会	全員協議会	倉敷市消防出初式	成人式	全員協議会	1

岡山県町村議会議長会表彰

2月17日

に開催された岡山県町村議会議長



会総会において、福田議長に自治功労者表彰が伝達されました。多年に亘り、地方自治の振興発展に寄与貢献された功績が認められたものです。

農業委員会のあり方について活発に議論

平成29年2月9日石川県野々市市議会の市政議員会の議員4名が視察来町された。野々市市は2011年に町から市制移行。区画整備により農地が320haから80haに減少。農業委員会の廃止から復活した経緯などについて説明の後、農業委員も出席し、限られた時間のなかで活発な意見交換を行った。





議員 徳 一 沼 浅

問

新総合事業・早期立ち上げ急げ

答

要支援の方々に対し、調査し早急に体制を整備する

問 介護予防・日常生活支援総合事業の準備状況について問う

平成27年4月に介護保険制度の改正があり、要支援向けの介護予防サービスが自治体の総合事業へ移る制度の見直しがなされた。地域の実情に応じて住民等の多様な主体が参画しサービスを充実することで地域の支え合い体制づくりを推進要支援者等に対する効果的かつ効率的な支援等を可能とすることを旨とする。本町の現在の準備状況は

答 町長 総合事業の実施は町が主体となり現行相当の、通所・訪問介護・ケアマネジメントの要綱整備や事業所への依頼、新規事業所については運営基準の指定に関する要綱を整備し今年4月から実施できるよう準備している。

問 要支援1・2の利用者の方に対し現行相当のサービスのまま総合事業に移行することだが、要支援・要介護者・障害者に対応できるだけの事業所及び人手の確保

保はできるのか日常生活支援とし、運営基準、資格要件等を緩和し新規事業の発足を早急に進め整備しなければならぬのでは

答 町長 サービス提供体制を早急に整えていく。また現在、要支援の方々に対し調査をさせていただきこれらを踏まえ制度上緩和したサービスが利用できる体制を整備していく。



問 これからの時代の福祉社会の在り方について問う

これからの福祉社会は、それぞれ

れの地域の特色を最大限に生かし地域で創造していくものであり、その場所で暮らす人々の自発的な互助のネットワークを基盤とした支え合いの共生社会を目指すべきと考えるが。

答 町長 地域のあらゆる住民が役割を持ち、支え合いながら自分らしく活躍できる地域コミュニティを育成し、地域の公的サービスと協働して助け合いながら暮らすことのできる仕組みを構築していく。

問 介護予防充実で健康・長寿の環境整備について問う

予防による健康保持に対し人々の意欲、関心が益々高まっている時代、生涯にわたって町民一人一人が主体的にまた地域全体で健康づくりが増進できるような、ソフト・ハード双方における環境の整備が必要であると考えるが

答 町長 平成28年度から100歳体操を取入れ高齢者のたまり場として、めざせ元気ころばん塾を始めたところだ。体操を実施することで健康づくりや介護予防につながり、参加者の孤立予防になることはもとより、地域の元気な高齢者が運営に参画してくださり、高齢者の社会貢献活動の促進や

生きがいづくりにつながるものと思う。今後積極的に取り組むこの事業が継続的に実施できるよう環境づくりに取り組む。

問 一人暮らし高齢者の見守り強化について問う

単身高齢者の社会的孤立を防止住み慣れた地域で安心して生活を送れるよう本町も様々な取り組みを行っているが、今後さらにニーズが拡大することは明らかだ。単身世帯増に対処するための包括的な政策が強く求められると考えるが、取り組みについて伺う。

答 町長 現在、民生委員の方や福祉活動員の方に70歳以上の方を対象に、友愛訪問活動をしていただいている。ご本人の健康や生活の事等、困りごとがないかお尋ねし、状況により保険や福祉のサービスの紹介、地域包括支援センターへの相談につなぐ等している。今後高齢者が増加することを考えると見守りをしてくださる方の人数は不十分だと言える。今後高齢者の方のニーズを把握し、見守りに協力してくださる方が一人でも多くふやせるようボランティアの養成や民間活力の参入など仕組みづくりを行っていく。



佐藤 眞治 議員

問 災害時に特別な配慮ができる「福祉避難所」についての対策は

答 災害発生時には「白亜館」を使用要請する

問 鳥取地震で倉吉市では「福祉避難所」に指定していた施設が被害にあり開設できなかった。高齢者生活福祉センターを急ぎよ「福祉避難所」にしたが、一般の人がいたり個室がなかったりして活用がしにくかった。

職員が一般の避難所を手分けして対象者を探したり、民生委員の方が対象者を訪ね「福祉避難所」にいるのが望ましい人に声をかけたが、事前に広報してなかったことで理解してもらえてなかったこともあり困難を要した。

町ではこのような弱者のための施設をどのように考えているか。
答 副町長 この施設は2次避難所だと考える。阪神・淡路大震災後に見直された災害基準法によって位置づけられている。

町は23年度に福祉避難所として社会福祉法人敬仁会と協定を結び、災害発生時には特別養護老人ホーム「白亜館」を使用要請する。

また、地域の福祉避難スペースに少し間仕切りをし、安全・安心なスペースを確保したい。

問 大規模災害時に弱者の安全をどのように確保するかが最大の課題である。

国は昨年4月に、「福祉避難所」の運営や事前周知に関するガイドラインを公表し、各市町村にマニュアルを作成するよう促した。

津山市では一般の避難所から「福祉避難所」に移送する訓練をしたり、市や福祉施設の職員が移送の際に配慮すべきポイントを障害の態様ごとに明記するようマニュアルを改正することのこと。

このような訓練は、まだまだできないだろうとは思いますが、町としても早い時期に被災者をサポートする担当者の人材確保に努めるとともに「福祉避難所」を指定しマニュアルの作成を行うべきと思うが。

答 副町長 マニュアルの作成は

できていない。検討はしている。マニュアルの作成、サポートする人材の育成は町にとって課題であり、災害時に施設が円滑に設置・運営できるよう平時からの事前対策、災害時に実施すべき事項について定めておく必要がある。

要援護者の避難生活を支援するため家族・地域住民・町職員が協力して対応に当たることになるが、専門的な人材の確保に関して、関係団体・事業所と人的支援を得られるよう連携を図っていく。



唯一の「福祉避難所」白亜館

「災害救助犬」派遣施設との締結後の支援と今後の計画は

問 地震や災害の発生時、倒壊した家屋の下敷きになった生存者を臭覚で探し出す「災害救助犬」を育成している県内唯一のチームと、早島町は出動協定が締結されている。

東日本大震災の発生から間も

ない11年に発足したチームで、広島市土砂災害や熊本地震ではそれぞれ延べ4日間の捜査も経験している。

町でも「南海トラフ大地震」の発生が懸念されていて、必要になって来ることがあると思う。町としてこの施設への支援ができないものかと思うが、また今後の計画は出動協定を締結している町として、どのようなことを考えているのか。

答 副町長 昨年8月に災害救助犬の出動に関する協定を交わしている。協定を交わすときに、救助犬を知ってもらえる活動をしていると聞いている。

総合防災訓練にも参加してもらった。今後の訓練にも参加してもらおうよう考えている。解体前の家屋を借りることができれば、被災地を想定した訓練が行えること聞いたので、実践に役立つ訓練ができる場所の情報収集をすることで役に立っているのではと思っています。

要望 土のう袋の収納庫の設置は、防災倉庫の前に2基設置済み、町内2カ所に設置予定。今後も随時増設するようお願いする。



眞鍋和崇 議員

問 制服買えぬ「就学援助」拡充を再度求める

答 就学前準備金を引き上げる
(小・2万円 中・2万4千円程度)

問 貧困が社会問題となる中、今年小学校に入学予定のA君は入学準備費用に約5万4千円。同じく中学校入学予定のBさんは約12万円かかったそうだ。

次のことを求める。①就学援助基準の拡大を ②部活動は教育の一環。クラブ活動を補助対象に ③新入学学用品費は小学校2万円余、中学校は2万3千円余。余りに少額だ。引き上げを ④新入学に間に合うよう、新入学学用品費は入学前に支給を。すでに全国の自治体で実施している。

答 教育長 ①受給対象範囲の拡大は検討する ②クラブ活動は個々人で購入物に差があり困難 ③新入学学用品費は引き上げた ④入学前支給は困難だ。

問 前議会から未だ「検討中」は残念だ。新入学学用品費はせめて制服が買えるだけの金額を。そして前倒し支給は可能はずだ。

答 教育長 国の通知は小約4万、中約4万7千円。早急に対応

する。支給前倒しは検討したい。

教育長の教育姿勢について

問 1月23日の『はやしま学園運営協議会』で学校長は、一般の道徳研修での外部講師の招聘に際し、校長が「承諾がなく、校長の見解を無視した実施は学校運営上の支障」と発言。また、「越権行為、教育委員会の行為が学校運営の弊害」と意見が出されている。委員からも「コミュニケーションが必要」「校長中心の体制づくりを」との指摘があった。

答 教育長 教育長と学校長・教職員・保護者という対立は大きな問題では。

問 校長と情報連携・共有が図られなかったのは残念。今後の課題だ。

答 教育長 運営協議会で忌憚のない意見は極めてありがたい。校長と情報連携・共有が図られなかったのは残念。今後の課題だ。

問 学校長との共通理解の上で学校運営が求められる。改善が必要では。反省すべき点は反省を。

答 教育長 学校を阻害しようとは全然思っていない。

問 問題がないということか。

少人数学級による教員の負担軽減と施設整備計画を

問 県の加配を活用し平成29年度から中学1、2年ともに学級数をふやすと聞く。少人数学級は賛成だが、教員の授業時数等の負担増加が懸念。どう対策を図るか。

答 教育長 次年度中学校で町費講師を1名配置し2名に、特別支援学級の支援員を1名増加させる。

問 平成29年度から小学校が計2教室、中学校は2教室の増。全く余裕のない状況だ。計画的な学校の整備が必要だ。

答 教育長 検討する。

保育料の一部無償化は時期尚早

問 歳入減に伴う財源は。

答 町長 全体予算の中で捻出した。

問 捻出できたというが、財政調整基金からの繰り入れが3千800万円ふえている。

答 町長 (無償化が) 全部ではない。バスや小児医療等、扶助費が増加している。

問 基金をアテにした経常歳入減への一部無償化先行は危険だ。また、町長は「待機児解消を最優先」と公約しているが、今年度当初で9人の待機児がいる。

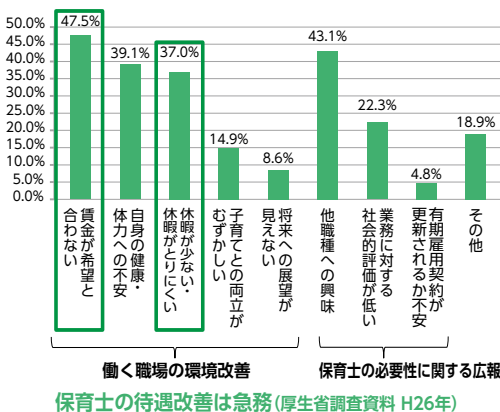
本会議では「保育士の確保が課題」と発言した。厚労省の調査では「賃金が希望とあわない」との回答が多数。待遇改善が必要では。

答 町長 議会終了次第、園長先生と懇談を持つ。

問 保育園に入所できない家庭がいる中、今すぐの無償化は公正な税の用途の観点でも時期尚早だ。

答 町長 無償化も子育て支援の観点から大切なことだ。

【保育士としての就業を希望しない理由】(複数回答)



その他 『ふるさと納税で農業振興を』について質問しました。



佐藤 政文 議員

問

3世代同居希望者に補助金補助を

答

近隣市町の動向を見て判断する

問 より多くの方に定住していただくための方策について尋ねる。私たちのふるさと早島町は町の面積にしめる平面の土地の割合が少なく、家を建てるにあたっては、居住可能な区域が足りないと言われている。このことは、町長自ら山陽新聞のインタビューでも述べられている。そのため、この早島町に移住や定住を希望する多くの方は、土地不足や土地改良による経費負担に悩まされているとの話をよく聞く。

提案なのですが、町として三世代同居を推進してみてはどうか。もちろん三世代同居のためには、家をリフォームする必要があったり、一部、建て増しをする必要があったりと、それらのことにかかる経費もばかにならない。その費用の一部を補助金という形で町が負担したり、三世代同居をしている世帯に奨励金という形で同居支援のための補助金を町が出したりするなどの方法がとれないもの

か。

町の人口を増やすための方策と土地不足を解消する方法の一石二鳥だと思う。

国の方でも話題となっているが平成27年度補正予算案として、三世代同居に対応した良質な木造住宅の整備の促進のために、地域型住宅グリーン化事業という補助金制度を予算計上している。



三世代同居イメージ

答 町長 近年社会情勢の変化で自分の生活を優先する考え方などから核家族化がふえ、三世代同居家族は減少している。

しかし、三世代同居は、子育てにおける世代間の助け合いによる若い夫婦への負担減が期待でき、高齢者福祉の面からもよい環境である。今後の少子高齢化社会において、有効な政策だが、

本町の財政状況、近隣市町の動向を見ながら判断する。

問 前回の議会で、二間川の危険な箇所「ガードレール」の設置を要望したが、「人が車に挟まれたら危険だから設置しない。」と述べられている。ならば自転車や人が用水に落ちない程度の柵を設置してはどうか。

ウレタン素材など、柵の材質によつては、車に挟まれても危険性が軽減されるものもある。工夫次第で、何とかなることだと思う。また、それらの危険箇所は夜間照明もなく、暗くて夜はよく見えな箇所である。

私たちのふるさと早島町は、町の面積あたりの用水路は長い。この早島町から今後一切転落死亡事故をなくすために、必要箇所への転落防止柵の設置をよろしくお

願います。

外灯が暗い点については、2月28日の全員協議会において、防犯灯等LED化導入事業についての説明があった。

LED照明を使って経費を抑えた上で街路灯を整備し、安全確保を図るなど、適切かつ効果的な転落防止策の実施を行ってもらいたい。

答 町長 比較的歩行者や自転車の通行量が多い道路沿いの水路には反射板や転落防止柵を設置している。

今後においても、ソフト面、ハード面から転落事故防止の効果的な措置を講じ、継続的に取り組む。



庁舎より南部を望む



古田 敬司 議員

問

乗降客3000人クリアの目標は

答

いつになるか目処はたっていない

問 平成29年度の所信で「JR早島駅周辺、町役場周辺を新定住促進地区と位置づけ、その実現を図るため立地適正化計画を策定し市街化区域編入について、岡山県と協議を進めていく。また駅のバリアフリー化を実現するために一日当たり3000人の乗降客に増加させることが重要であり、住民の皆さんの利用促進をお願いしたい。」と述べられている。

我々議会もこれまで駅のバリアフリー化に向けて署名活動、地元選出国会議員の方々への陳情など行ってきたが、現在の町財政において単独事業は無理があると言わざるを得ない。

今後定住促進が図られても、将来にわたり乗降客3000人という大幅な増加は見込めないのでは。

当局として今後どのように取り組んでいくのか。

答 町長 JR早島駅及び役場周辺を含む新定住促進地区の土



早島駅前周辺

地利用を転換し、公共公益施設や生活利便施設を初めとする都市機能を適正に配置し、駅関連施設を主体とした整備のみに限定することなく、駅を含む周辺地区の人の交流を促進し、町のにぎわいを向上させることが重要と考える。「木を見て森を見ず」にならないように取り組んでいく。

問 乗降客3000人クリアの目標はいつごろか。

答 町長 平成27年度の利用者数1128人で徐々に増えているが、いつになるか目処はたっていない。

行政はどのように自治会に関わっていくのか

問 「地方創生によるまちづくりを推進するためにはコミュニティの一体感を醸成する必要がある。自治会が主体的に地域の課題解決に取り組めるようコミュニティ活動の情報提供と意識の高揚に努め、その活動拠点となる施設や設備に対する支援も行う。」

地域コミュニティの連携促進に努め、住民と協働のまちづくりを推進する」と所信で述べられているが、平成27年度資料によると自治会（町内会）加入率は最低が55・9%、平均で77・3%となっている。子供会に至っては平成17年度76・4%から毎年減少の一途をたどり、平成28年度は小学校児童数784名中子供会加入会員数468名、41・71%となっている。

また高齢者が年々増加する中で行政委員である福祉委員、民生・児童委員は地域生活支援を推進するうえで行政と地域を結ぶ重要な役割を担っている。

しかし、そのなり手に各自治会は苦慮しているのが実態にある。年3回開催されている行政連絡会

議を行政の一方的な説明に終わらせることなく、住民自治の観点から住民に身近で関心の高い課題を提供し、話し合いこれを解決するための会議にしていく必要がある。

町長が取り組んでいる「町長と語ろうお茶カフェ集会」も視点を変えてワークショップなどに変換させ、行政が活動をサポートする仕組みを構築することで住民と行政の協働のまちづくりが推進できるのではないかと。

答 町長 自治会は本町における住民自治の根本であり、それぞれ対等な立場から共に地域を支えていく大変重要な協働のパートナーであると考える。地域が元気になれば町全体が元気になり、地域の魅力向上を図るため、各地域が抱える課題を共有しつつ、その課題解決に向けて、町と自治会とで協働して取り組んでまいりたい。

問 自治会が要請したときに職員を出向させるとか地区担当職員を配置する考えはないのか。

答 町長 各自治会に担当職員を配置することは不要と考える。まちづくり企画課を担当にしているのをお気軽に相談していただきたい。



佐藤 智広 議員

問 急がれる早島町の高齢化施策地域包括ケア・たまり場：
答 29年度からの介護予防・日常生活支援総合事業の実施!

地域包括ケアシステムの状況は

問 早島町の地域包括ケアシステムの現在の状況をどのように捉えているのか。

答 町長 現在までの主な取り組みは、包括ケア懇話会を設立し地域課題の整理や個別ケアの実施。認知症高齢者見守り徘徊SOSネットワークの立ち上げ。慈恵病院と地域包括システム構築に関する連携協定を結んでいる。また29年度からは^{*}介護予防・日常生活支援総合事業の実施に向



総合事業は地域包括ケアシステムの大きな要

けて準備している。

「たまり場」＝「百歳体操」

問 所信表明で『たまり場』を8地区で実施し、保健師の指導による『いきいき百歳体操』など地域

主体で取り組んでいる。とのことだが、『たまり場』はいつでも、誰でも立ち寄れるような場づくりであると認識してたが、ずいぶん内容が変わったのでは。また8カ所とは、どの地区なのか。

答 町長 担当保健師やケアマネと相談した結果『たまり場』に人を寄せるためには、何か目的があった方がよいという結果になり、あれこれと協議し、高齢者に向けた『百歳体操の実施』を目的にすることにした。現在『たまり場』は、三軒地、金田、真磯の3地区とゆるびの舎でいきいき体操教室・おたっしや教室等の4グループが週一回、『百歳体操』実施している。29年度はさらに3地区が実施の意向だ。

問 『たまり場』事業を実施するにも運営費が必要だ。町として補助金制度は考えていないのか。

答 町長 『百歳体操』については体に負荷をかけるためおもり購入費(約4000円)の2分の1を補助している。

現在サロンに1〜2万円程度の補助(地域回数により異なる)をしているが、今後は総合事業の1つと位置づけ、要綱をつくり補助金を出していきたい。

問 昨年開催された包括ケア懇話会で、介護予防と介護ボランティア制度について、住民主体の生活支援サービスとして予算計上し、サポーターを養成し導入していきたいといった話があったが、その進捗状況は。

答 町長 現在関係機関と調整し、29年度中にはボランティア養成及び運用を図っていけるよう準備している。

ICT導入による学校教育

問 ICT導入による学校教育の先進的な取り組みが続いている福島県新地町ではeラーニング(インターネットを利用した学習形態)を活用することで、小中学校とも、全国平均よりも学力の伸び



教育現場でますます進むeラーニングの活用

が顕著だったという結果が出ている。早島町ではICT導入による取り組みはどのような状況なのか。

答 教育長 現在小学校は6年生を対象にノートPC型タブレットを140台、中学校は全学年を対象にiPadを140台導入し、小学校ではインターネットを使った教科の調べ学習をはじめ、新聞づくり等に活用している。中学校では教科の調べ学習はもちろん、ほとんどの授業で効果的に活用し、学習意欲や表現力の向上に役立っている。今後は、先進校の事例を踏まえながら、活用の仕方や整備状況を検討していきたい。

^{*}介護予防・日常生活支援総合事業 市町村が地域の高齢者の実情に応じた、必要な『生活支援』『介護予防』を『総合』的に行っていく事業のこと。



平岡 守 議員

問 保育園、保育士の確保はどのようになっているのか

答 環境の改善を図り就業促進や離職防止に努めている

問 新年度の待機児童、また保留児童はどのようになっているのか。

答 町長 町内3園で9名(ゼロ歳児3名、1歳児2名、2歳児3名、5歳児1名)、保留児童は18名。

問 入園受入れ審査、優先基準、点数方法等、そして同居の祖父母がいる場合、またその場合は年齢制限があるのかお尋ねしたい。

答 町長 入所については点数表をもとに調整している。居宅外労働、自営業、内職の方と勤務時間により点数が決まっている。ほかにも求職活動中、保護者の疾病、障害で家庭保育ができないなど、状況に応じて点数が決まっている。さらに、ひとり親家庭や虐待、DVの恐れのある家庭、同居の祖父母の有無などにより点数が加減されている。

問 同居の祖父母についての状況、詳しくお聞かせしたい。

答 健康福祉課長 例えば無職、

病気でない方には減点、子供1人当たりマイナスイの判定をしている。年齢制限は65歳未満。

問 特殊なケースですが、双子・3つ子の場合には点数についての基準はあるのか。そのような家庭は非常に大変だ。少しでも日常の負担を軽減し就労可能な環境に協力が必要だが、それらに対する基準はあるのか。

答 健康福祉課長 点数にかかわらず保育が必要かという観点で審査している。今後、市町村の状況も見て他市町村の例を参考にする。



新しく開園したわかみや保育園

問 保育士の問題は当町に限らず全国的な問題となっている。民間保育園において保育士を募集してもなかなか申込みがないということだが、資格を持っている方々が何故、仕事に従事しないのか、またできないのか。

給料が安い、子育て中であり、自分の子供が保育園に預けられない等、様々な要因があると思うが、解決に向けて、行政がそれら潜在的にいると思われる有資格者に働きやすい環境の整備が喫緊の課題と思うがどうか。

答 町長 待機児童解消のためにも、保育士確保は重要である。保育士の保育環境の改善を図り就業促進や離職防止に努めている。求人もハローワーク、フリーペーパー、新聞折込、広報はやしまへの掲載で広く募集している。

問 総社市では保育士確保策として保育士1人につき年間2万円の手当を創設すると聞いている。それも保育士不足の解消に向けた処遇改善の第1弾としているようだ。当町も、是非それらを含め待機児の全面解消に向け一刻も早く進めていただきたいがいかがか。

答 町長 総社市はいろいろ考えているが、当町も手を尽くしてやっている。園長さんにもアドバイスをいただき検討していく。

問 待機児童の全面解消に向け一刻も早く進めてほしいが、熱意はあるのか。

答 町長 ずっと熱意をもってやっている。

土砂災害法で区域に指定された場合、減免措置の考えはあるのか

問 岡山県より土砂災害防止法に基づく基礎調査結果についての地元説明会が先日開催されたが、これにより土砂災害警戒区域、また特別警戒区域が県から示された。それらが土砂災害法で指定された場合、指定された土地等、さまざまな制限が発生し不動産価格は低下するものと思われる。指定された場合には固定資産等の減免措置が必要と考えられるがいかがか。

答 町長 土砂災害法の土砂災害特別警戒区域、に指定された土地については開発、建設に対する規制が行われることを考慮し評価について不動産鑑定士等と協議を行いながら、県内市町村の状況等を鑑み対応していく。



松森京子議員

問 保育士中心に交通安全教育を

答 交通安全教室を保育園に要望する

問 保育所では交通安全教育の重要性が保育指針に記載されていない。

答 町長 保育園では、園児に対して、交通安全講習や実地指導（5歳児に横断歩道の渡り方の指導）を行っている。

交通安全教育の実施状況は

また倉敷警察署協力のもと、DVD鑑賞や講話を行い、園外保育児の補講（年齢に応じた適切な安全指導）を行っている。

しかし保育士に対しての交通安全教育は特に行っていない。

問 H27年の交通事故死傷者数は5万6962人。このうち年齢別に見ると、7歳児が1462人で成人の2・5倍。高齢者の約2倍となっている。

過去5年間で、毎年7歳児の死傷者が最多となっている。

各地で交通安全教室が行われているが、必要なのは、保育士に子供の視野の狭さ、衝動的な行

動など発達上の特性を踏まえて、危険を考えさせる体験型教育である。

入学前の早い段階から危険を感知して避ける能力を身につける交通安全教育が必要とされている。

保育士の養成課程で交通安全教育が必須科目に含まれていないため、いざ現場に出て教育の必要性を感じても、教える側に十分な知識や技術がなく、効果的な教育が実践できていないのが現状。特に就学前に関わる保育士中心に保育園児、保護者の方に教えらるる交通安全教育の強化を図っていただきたい。



答 町長 7歳児の事故が最多というのは認識不足だった。幼稚園、保育園ではそれぞれ取り組んでいるが、足りないところもあるということは大切な指摘だ。保育園に要望する。

ペアレントメンター事業の開設

問 ペアレントメンターは、発達障害のある子供の子育てを経験し、相談支援に関する一定の研修を受けた保護者が相談役になるというもの。まだまだ発達障害に対する認知度は低く、また障害の特性も多種多様で、一般の人には理解されにくい。

周囲の理解を深め、寄り添ってあげられる社会を、そして障害のある子供を持つ保護者が、子育てしやすい町をつくるためにも、ペアレント事業を開設してはどうか。

答 町長 本町では総合療育訓練事業を開始している。

今年度からは就学前の発達支援事業にも取り組み、子供の支援が途切れないよう、一貫した支援を行っている。

岡山県ではペアレントメンター活用事業を実施しているが特に周知はしていない。療育相談等のとき要望があれば

対応していく。

性同一性障害の対応

問 性同一性障害の方はいつの時代でも、どこの国や文化でも2%から13%程度は存在する。2015年に、ある企業の調査で、13人に1人、7・6%と発表された。しかし正確な統計は出ていないと当事者は講演の中で語っていた。調査に正直に答えるのも抵抗がある。

誰もが一人一人自分らしく暮らせることは人権尊重のための第一条件である。自分の苦しみを言葉に表現できないことが多く、信頼できる大人や理解者、正しい情報源が必要だと訴える。

本町では性同一性障害への配慮と相談体制はどうか。

答 教育長 文部科学省ではH26年に全国の小、中、高で606件の報告。本町では今年度中学校では、人権意識の向上へ向け、性的マイノリティーとされる方への理解を深めるための講話など行っている。

今後ともスクールカウンセラーや養護教諭等による教育相談の充実や、相談しやすい環境づくりに取り組む考えだ。



小池 宏治 議員

問 危険水域にある財政硬直化の
財政改革の断行は

答 短期的な財政見直しで、計画的な
財政運営を行っている

問 就任以来、健全な財政運営と徹底した無駄の排除を掲げて、公約で財政改革の断行とある。財政の面では、経常収支比率が新聞誌上で毎年硬直化が問題とあり、平成27年度92・9%、平成28年度推計93・0%、平成29年度予測が94%と上昇の一途。今後さらに社会保障費の増大や公共施設の老朽化など、財政を取巻く環境は益々厳しさを増すと思われるが、どのように財政運営・行革を行うのか。

答 町長 財政運営については財政の柔軟さを欠く状態が続いており、コミュニティバス、小児医療などの事業を自前の財源で賄い、町民サービスの充実を図ってきた結果と認識しており、短期的な財政の収支見直しを作成し、計画的な財政運営を行っている。

問 行革断行の公約であれば、財政悪化の岡山県政で石井知事が公共事業のカットや職員の削減と給与のカットなど実行されている。町長も行革の先頭に立って、職員

を鼓舞されてはどうか。

答 町長 本町もその時々で財政改革をやつてこられたと思つている。改革ということでは、たとえば公園管理は建設に一元化、まちづくりはまちづくり企画課で対応など機構改革も一部行つている。

問 町長が総合型スポーツクラブの設立で、昨年・今年とボルダリングの提案があつた。この総合型スポーツクラブの設立について、まず最初に順序が必要かと考える。スポーツ団体を始め町民皆さんの声を集めること、またスポーツ施設・広場の確保も必要、そして財政的にも大変難しいと聞いている。もう少し順序を考えてはどうか。

答 町長 総合型スポーツクラブは多様目・多世代という縦と横のつながりをつくることで地域間の交流を深めるスポーツを長く継続できる。

環境問題について

問 公約の中で次世代に安心できる環境を送り届けると示されている。「環境のまち早島」を町内外に宣言されてから今年で10年目に入る。公共施設で太陽光発電の導入・電気自動車、そしてコミュニティバスによる集団移動など積極的に取り組まれて評価している。今後の温暖化・省エネ対策さらに家庭部門も含めて大変重要な課題と思うが町としてもっと前に進めるお考えは。

答 町長 本町では平成27年度末の二酸化炭素排出抑制の目標は達成、今後も照明のLED化や空調設備の導入も検討、職員にもクールビズ・ウォームビズ・ノーマイカーデーの参画を行っている。町民の方々への補助金制度は国・県の範囲で行つていただき、町としては防犯灯のLED化のように広く一般の利用に対して使用していきたい。

問 家庭における温暖化対策だが、県では、あなたのおうちのエコ診断・使った電気が一目でわかるおうちでの節電・省エネ生活に關心ありませんか。推奨・PRしている。町民の方々に協力を求めていくことが大切かと。温暖化対策の一つの目標としてこれらの

施策の導入も含めたお考えは。

答 町長 公の方では平成29年度から新しい計画を検討している。県の制度も見習いながら町内でPRしていきたい。

学校教育について

問 県下No.1を目指す方向は徐々に進められていると思うが、子供たちのこれからの豊かな人生を考えると、心と体のバランスのとれた成長が最も大切だと思う。昨今、全国的に外遊びや運動する機会が減ってきて、子供たちの運動能力・体力が86年をピークに低下している結果が出ている。最近では体力低下の危機感からさまざまな取り組みが進んでいるが、本町の子供の現状及び今後の対応はどうか。

答 教育長 平成28年度全国体力・運動能力等の調査から、本町の現状の実技種目は小・中学校とも体力合計点は男女とも全国平均を上回っている。体力向上を図るには幼児期から運動習慣・生活習慣の定着が大切なので、保幼小中で統一した早島っ子チャレンジカードを作成、外遊びやリミットスクリーンに一体となって取り組んでいく。

新入職員に 聞きました!

- ①お住まいはどこですか?
- ②どんなお仕事をしていますか?
- ③早鳥町のここが好き!というところを教えてください。
- ④町民の皆さんへ一言!

- ①倉敷市内出身で、現在も市内に住んでいます。
- ②地域包括支援センターに所属しており、主に認知症に関する事業や権利擁護などを担当しています。
- ③早鳥公園の桜や公園から見える早鳥の景色が好きです。
- ④安心して暮らせる町づくりに向けて、精一杯頑張っていきたいと思っています。よろしくお願いします。



健康福祉課技師
吉浦 理子
よしうら さとこ



まちづくり企画課主事
中川 智之
なかがわ ともゆき

- ①岡山市の福浜出身です。
- ②まちづくり企画課で情報政策に関する仕事を担当しています。
- ③早鳥公園から児島方面の景色が大変きれいで好きです。
- ④「やさしさと希望にみちたまち」の更なる発展のため、がんばっていききたいと思います。どうぞよろしくお願いします。



健康福祉課主査
杉本 共美
すぎもと くみ

- ①広島県福山市出身で、8年前から早鳥町に住んでいます。
- ②健康福祉課で保健師をしています。担当は健康増進です。
- ③弁才天の県道の急カーブにある大きな桜が、毎年桜吹雪を見せてくれ、心癒されています。
- ④わからないことばかりですが、さらに住みやすい、子育てしやすい早鳥を作るために、住民目線で頑張っていきたいと思っています。よろしくお願いします。

- ①福山市出身で、現在は福山より通勤しています。
- ②総務課にて、入札事務・庁舎維持管理等の担当をしています。
- ③景色も広く見渡せて夜空がきれいなところ、水路や田んぼなどで割と身近に野鳥が見られるところです。
- ④入職後半年経ちますが、未だに分からないことが多くご迷惑をおかけしています。前職での経験等を小さな形ででも活かし貢献できればと考えておりますので、ご指導のほどよろしくお願いいたします。



総務課主任
箱田 祐介
はこだ ゆうすけ

- ①岡山市出身で、現在も市内に住んでいます。
- ②建設農林課(兼 上下水道課)に所属しています。道路、水路等の計画・調査・設計から工事実施における施工管理・監督業務まで一連の仕事をしています。
- ③早鳥公園の桜が好きです。
- ④まだまだわからないことがたくさんありますが、仕事を早く覚え、暮らしやすいまちづくりのために頑張っていきたいと思っています。よろしくお願いします。



建設農林課(兼 上下水道課)技師
鈴木 直明
すずき なおあき

- ①倉敷市出身で、現在も倉敷市に住んでいます。
- ②まちづくり企画課で情報政策に関する仕事をしています。
- ③早鳥公園の桜が好きで、毎年花見に行っています。
- ④わからないことが多く四苦八苦しておりますが、一生懸命勉強していきます。よろしくお願いします。



まちづくり企画課主事
大森 雄太
おおもり ゆうた

◆ 編集後記 ◆

◆ キャンドルナイトを始め、記念の年にふさわしいさまざまなイベントが開催され、盛り上がった町制施行120周年の年も終わり、いよいよ新たな未来へのまちづくりのスタートの年になりました。

◆ 思い返せば、町民の皆さんとの対話の場を設けて議会の役割と同時に皆さんの声を議会に活かしたいという思いから、平成25年5月に初めての議会報告会を開催しました。試行錯誤を重ねながら議会報告会をしてまいりました。

◆ 今回、新たな試みとしてワークショップ形式で自治会・婦人会・PTAなど各種団体の代表の方と本町のまちづくりをテーマに各テーブルに分かれて活発な討論がなされて、有意義な報告会となりました。

◆ これからも開かれた議会を目指して、町民の皆さんに認知していただけるよう精進してまいりたいと思います。

議会広報特別委員会